

## 電磁波の発見までの年表

	科 学	技 術	
前6世紀	静電気の発見(タレス)		
11世紀		水上式磁針(中国)	
16世紀		吊下げ式羅針盤(イタリア)	
1600	「磁石について」(ギルバート)		17世紀に近代科学が誕生 アマチュア時代 (知的趣味の時代)
1666	光のスペクトル発見(ニュートン)		
1669	光の粒子説(ニュートン)		
1675	光速の測定(マーレー)		
1678	光の波動説(ホイヘンス)		
1745	ライデン瓶の発明(オランダ)		
1752	雷の研究(フランクリン)		
1780	動物電気の発見(ガルヴァーニ)		
1785	クーロンの法則(フランス)		
1800	電池の発明(ボルタ)		近代電気学の始まり (動電気学) 科学のアカデミズム時代 (1800~1940) (正式に高等教育に)
	水の電気分解(カーライル他)		
1820	電流の磁気作用(エールステズ)		
	ビオ・サバールの法則		
	アンペールの法則		
1824	ゼーベック効果の発見		

1827	オームの法則		電気回路理論の始まり
1830	自己誘導の発見(ヘンリー)		
1831	<b>電磁誘導の発見(ファラデー)</b>		電磁理論工学の始まり
1832		発電機の発明(ピキシ)	
		電磁式電信機の発明(シリンク)	
1837		電信用符号を考案(モールス)	
1840	電流の熱作用(ジュール)		
1842	ドップラー効果(ドップラー)		
1847	キリヒホッフの法則		
1850		英仏海峡海底電信ケーブル敷設	第2次産業革命
1861	電話機の発明(ライス)		
1864	<b>電磁場の理論(マクスウエル)</b>		
1866		自励式発電機の発明	電力技術時代の始まり
1869	元素の周期律表(メンデレーフ)	直流発電機の発明(グラム)	
1876		電話の発明(ベル)	
1878	光速測定(マイケルセン・モーレー)	すず箔円筒蓄音器の発明(エジソン)	
		<b>炭素フィラメント電球の実用化(エジソン)</b>	
1879		アーク灯の実用化(ブラッシュ)	世界初の工学部の誕生
1881		電車運行(ベルリン)	(1886 東大)
1888	<b>電磁波の発見(ヘルツ)</b>		
1893		<b>無線電力伝送実験(テスラ)</b>	
1899		<b>太平洋横断通信(マルコニー)</b>	